

	NPO 法人 京都観光文化を考える会 都草だより	第52号 発行人：小松香織 編集人：西野嘉一 発行所：京都市上京区 下立売通新町西入 京都府庁旧本館2階 電話：075-451-8146
---	---	--

■新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。昨年は、大きな災害が続きましたが、皆様のご協力で、都草にとっては飛躍の年になりました。

京都新聞「京都御苑さんぽ」の連載、環境省京都御苑管理事務所と共催した「京都御苑・明治維新 150 年記念連続講座」などで、今では京都御苑といえば都草というまでになりました。さらに京都検定対策委員会の模擬試験・講習会と旅行会社や大学・大学校等でのおでかけ講座、3 年目となる旧議場土曜講座。そして 60 年に 1 度という大覚寺での「戊戌開封法会」や「京都の御大礼展」でのご案内。懸案であった都草ガイド研修会の再開など、一つ一つの活動を地道に積み重ねてまいりました。こうした努力の結果、歴史ある京都の出版社より長期連載執筆のご依頼もあり、すでに年末から意見を出し合い初回原稿提出に向け準備しております。今後も皆様と共に京都の歴史・観光文化について学びながら、奥深い京都の魅力を多様な形で強力に発信してまいりたいと思います。

都草を自己実現・生きがいの場としてご活躍される皆様こそが「都草の力」です。今年もご指導とご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。新しい元号に変わる年、皆様の益々のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。(理事長 小松 香織)

■第 12 回京都通模擬試験開催される



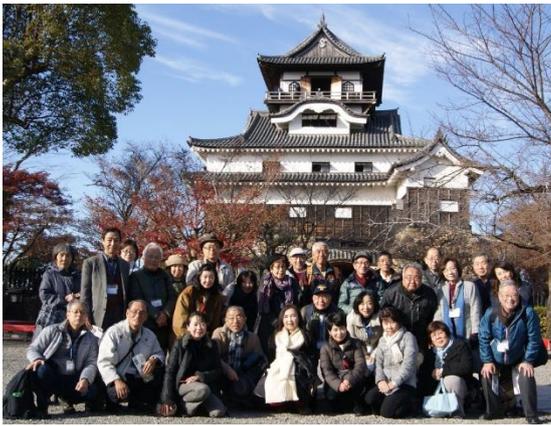
第12回目を迎えた京都通模擬試験を10月28日にひと・まち交流館で開催しました。毎年人気のこの模擬試験では会場受験79名、自宅受験95名、合計174名の方が受験してくださいました。前年に引続いたの受験者が7割もおられ、関係者としては大変嬉しいこととございます。

難関を極める1級の本試験のための京都通模擬試験を腕試しや、勉強の見直しの場として、多くの方に挑戦していただけることをありがたく思っています。今回の本試験の公開テーマは1級「京都御苑と御所・離宮」、2級「明治150年」、3級「きぬかけの路」でした。京都・観光文化検定試験が始まって15年を経てもまだまだ京都検定としての問題が尽きることなく出題できることに改めて京都に都がおかれた千年の歴史の凄さを感じます。

京都検定対策委員会ではほぼ一年をかけて問題作りに取り組んでいますが、メンバーのそれぞれ得意とする分野では知識があふれて、作成した問題が没になることもしばしば……。20名のメンバーで練り上げて作られた問題が多くの方に真剣に取り組んでいただけることに感銘を受けます。この模擬試験を京都の奥深さを学ぶよき機会としてとらえていただき、一人でも多くの方が合格されることを祈りながら今後も励んで参りたいと考えております。今回の模擬試験の問題は例年より難しかったように思いますが、本試験を受験された皆様のお役に立てたのではないかと思います。

会員の皆様の京都検定対策委員会へのご参加をお待ちしております。(理事 藤井 久美子)

■第 8 回 研修バス旅行（国宝犬山城と城下町、国宝茶室「如庵」）



まもなく長期の改修で公開中止になる前に「如庵」を見る最後のチャンス…と今回の研修旅行の行き先を決め、31名の会員にご参加いただきました。お茶室よりも城下町に興味のある方も楽しんでいただけるように、初めて2コースに分けて実施致しました。今回も参加者の皆様のご協力のおかげで、スムーズに京都駅八条口を出発することが出来ました。実はこれはとても大事（駐車料金10分2000円加算、笑）。大勢の方が集まる団体バス乗り場から無事出発した時は、都草の皆様の団結力を一番感じる時でもあります。

その後は道中の渋滞もなく、本日の拠点となる「名鉄 犬山ホテル」に到着。早めの昼食を頂きました。前半は「如庵コース」と「城下町コース」に分れ、わたくしは「如庵コース」に参加しました。「如庵」の中に入るといふサプライズは皆さまとても喜んで下さったようでした。やはりお茶室の価値はその空間に座って見ないとわからないものですね。400年前に織田有楽斎が建てたお茶室が京都から東京、大磯、犬山へと移築されたことで、幸運にも今日まで守られてきました。その移築の歴史が如庵の価値をさらに高めている事をご説明を伺ってよくわかりました。

後半は揃ってみんなで犬山城へ。青空に映える天守閣。急な天守閣の階段を登りきれば、眼下には木曾川。遠くまで続く川の流れに悠久のときの流れを感じることが出来ました。

帰りは少し遅くなりましたが、皆さま最後まで元気にお付き合いくださり誠にありがとうございました。また来年もよろしくお願ひ申し上げます！（副理事長 松枝 しげ美）

■明治150年記念区民ウォーク、都草が中京区、上京区、下京区の3区でお手伝い

【中京区】



10月11日（木）堺町御門で集合、80名の方々を4班に分け、堺町御門、九條邸跡、拾翠亭、閑院宮邸跡に分かれスタートしました。水本会員、田村会員、須田（清）会員、熊谷（喜）会員が各所20分かけて熱弁をふるいました。曇空で暑くもなくお客様も満足されたようでした。

【上京区】



11月23日（金）、寺町通を丸太町から北上、新島会館を見学後、清和院御門から御苑の中に入ります。参加者169名。学習院発祥の地からは都草の出番です。当初は定点の予定でしたが、急遽引率に切り替え、20名ごとのグループで出発しました。担当は小松会員、坂本会員、福井会員、林会員、田村会員、水本会員、羽田会員、宮川会員が通常の案内に新しい情報を工夫して追加しました。西園寺公望が笏を刀に持ち

替えて戊辰戦争に参加したことを知っていましたか。

【下京区】



12月8日（土）「明治期の建物などを巡る」と題し90名で催されました。都草では、島原の大門で須田（清）会員と植山会員、京都鉄道博物館の旧二条駅舎を、高橋（明）会員と野津会員が案内。3～5分と短い時間で6班への案内となりました。短時間に伝えるためには何をどの順でどのように話すかを勉強させていただきました。

（専務理事 田村 光弘）